

6月の休館日

3日(月) 10日(月) 16日(日) 17日(月) 24日(月)

浪江 in 福島ライブラリー きぼう (仮設浪江町図書館)
 Tel・Fax 024(573)4295 E namielib@gmail.com
 〒960-0241 福島市笹谷字片目清水30-8

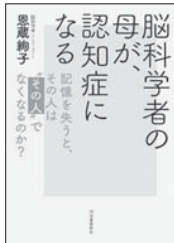
◆貸出冊数 1人5冊まで ◆利用時間 9時~17時
 ※お気軽にご利用ください。



「看護師も涙した 老人ホームの素敵な話」

小島すがも/著 東邦出版2018

尊敬する先輩看護師に誘われて特別養護老人ホームに勤めることになった著者。そこで出会った入所者やその家族との出会いから心に残った、19の話が紹介されています。世間では、介護の仕事は大変であると言われることが多いなか、著者は入所者の気持ちに寄り添い、ありのままを受け入れることで、まるで自分の家で生活しているかのように、施設でくつろいでもらえるよう努めます。この本は、これから介護しなければならない人たちにとっての「道しるべ」となるかもしれません。



「脳科学者の母が、認知症になる」

恩蔵絢子/著 河出書房新社2018

脳科学者である著者の母が、65歳でアルツハイマー型の認知症と診断されてから2年半。「母と一緒に嫌なこともあるけれど、うれしいことや学べるものがたくさんある」という著者は、「治す」のではなく「できる」ことは何かと、脳科学を武器に母の認知症に正面から向き合い続け、母にできないことを一つ一つ理解し、積み重ねていきます。理解力が衰えて、それでも残っているものが「その人の人生の中で大事にしてきたもの」との思いに著者はたどり着きます。「その人らしさとは何なのか」。人間の根本を問う作品となっています。

読んでみませんか



「そして、バトンは渡された」

瀬尾まいこ/著
 文藝春秋2018
 (2019年本屋大賞受賞作品)

幼い頃に実の母親を亡くしてから、矢継ぎ早に親が代わるという境遇で育った主人公である優子は、いわゆる世間一般の価値観からすると「かわいそう」なのかもしれません。しかし、彼女はいずれの親からも愛を注がれ育ち、全員のことが大好きで不幸だとは思っていません。まるで「バトン」が渡されるように、様々な親の元を渡り歩いていくなかで、優子が見つけた自分の幸せ、家族の幸せとは…。読んだ後に感じる幸せな余韻も、読者に渡された一つの「バトン」かもしれません。

こころの相談会のお知らせ



福島県精神保健福祉センターでは、思春期のこころの問題やアルコール・ギャンブルなどの依存に関する悩みについて、精神科医師による相談を行っています。ぜひ、ご利用ください。

- カウンセリングなどの治療は行っていません。
- 相談は予約制です。相談日の3日前までに福島県精神保健福祉センターまで電話で予約してください。
- 相談は無料です。ここで相談された内容について秘密は厳守します。

▷開催場所

福島県精神保健福祉センター (福島市御山町8番30号 福島県保健衛生合同庁舎5階)

▷開催日

月	日(木曜日)	月	日(木曜日)
6月	13日	-	11月 14日 28日
7月	11日	25日	12月 12日 26日
8月	-	22日	令和2年1月 9日 23日
9月	12日	-	2月 13日 27日
10月	10日	-	3月 12日 -

問 福島県精神保健福祉センター

Tel 024(535)3556 Fax 024(533)2408

問合せ時間 8時30分~17時15分

広げよう ママ友の輪

6月のかもめっ子クラブ

- ◆いわき市 6月6日(木) 10時~
なみえ交流館
- ◆郡山市 6月13日(木) 10時~
コスモスふれあいセンター
- ◆南相馬市 6月20日(木) 10時~
高平生涯学習センター

